

北海道熊研究会会報 第 132 号 2025 年 8 月 8 日

【創刊 2013 年 1 月 25 日】

北海道熊研究会事務局 北海道野生動物研究所

代表 門崎 允昭

事務局長 Peter Nichols ピーターニコルス氏

幹事長 藤田 弘志 氏

Tel 011-892-1057

ご意見やご連絡は、次の email へお願い致します。)

- 会報の 1~129 以前の号は Website に「北海道野生動物研究所」と入力し、ご覧下さい。

「北海道熊研究会」の Facebook と Twitter の編集は横山敬子氏が当たります

Facebook : <https://www.facebook.com/HokkaidoBearResearchAssociation>

北海道熊研究会」Hokkaido Bear Research Association の活動目的

熊の実像について調査研究し、熊による人畜及びその他経済的被害を予防しつつ、人と熊が棲み分けた状態で共存を図り、狩猟以外では熊を殺さない社会の形成を図るための提言と啓発活動を行う。この考えの根底は、この大地は総ての生き物の共有物であり、生物間での食物連鎖の宿命と疾病原因生物以外については、この地球上に生を受けたものは生有る限りお互いの存在を容認しようと言う生物倫理(生物の一員として人が為すべき正しき道)に基づく理念による。

[「北海道野生動物研究所」のホームページもご覧下さい](#)

今年 (2025 年) 今、現在迄に、北海道で

発生した罽による人身事故 3 件について

て報告します。

① 7月13日に、渡島管内福島町で、
午前2時50分頃、新聞配達中の、佐藤
研樹さん52才が、熊に襲われ、山林に
引き込まれ、身体を一部食害され、死亡
した。熊は体長2.08m、体重218kg、推定
年齢8,9才だと言う。

② 7月15日15時頃、函館市東部の恵
山に、単独で銃を持ち鹿撃ちに出掛けた
柳原幸政さん52才が、帰宅しないので、
搜索した所、銃が放置され、血痕が見つ
かった。搜索したが、男性は8月3日現
在、行方不明で有る。

門崎が思うに、「銃が放置され、血痕も有る言うから、「熊に襲われ、身体は熊により、熊が好む場所に、遺体を食べる為に、己が安心し得る場所に、立ち去れた事は、确实で有る

③ 美唄で、4月3日に、鹿撃ち行った織田幸雄さん77才が、鹿撃ちに行き、熊と遭遇して、熊銃で撃ったが、撃ち損じて、熊に逆襲され、左目を失明する重傷を負った。7月30日の道新の記事では、書かれていないが、門崎は、銃を発砲して、撃ち損じて、熊に逆襲されたと確信している。そうでなければ、熊が織田さんの顔面を攻撃することは、先ず有り得ないからである。

北海道での熊問題の解決策

北海道の熊問題は昔ら今も以下の2つです

① 熊の生息地に人が行って熊に襲われる事故

その対策には、ホイッスルと鉈を携帯し、熊より先に、自分が熊の存在に、気づくような歩き方をする事です。

熊は刃物で反撃され、己の身体に少しでも血が出る様な傷を受けると、人を襲うのを止める特性がある。

但し、銃で撃ち損じた猟師には、死に至るまで顔を攻撃する。

熊は人を襲う時、抱きついて襲うので、柄が長い刃物は不適で、銃器以外では、**鉈が最適**です。

② 熊が里や市街地や放牧場、農地、果樹園、

養魚場等出没して、住民に不安や被害を与える事の対策

それには**有刺鉄線柵を張り熊の生息圏と人の居住圏を**

分離する事です。それ以外、有効な対策は無いのです。

有刺鉄線を、地面に1本と、地面から、40cm間隔で、

4本、張れば良いのです。ぜひ、北海道として実施して

下さい。それで北海道の熊問題は解決されます。(了)